



大須戸で感じた、自然と人とのつながり

— 季節ごとに会える学びと笑顔 —

新潟県村上市・大須戸地区で、学生たちは地域の方々とともに、さくらんぼの栽培やお祭りのボランティア、田植えや稲刈りなどに取り組みました。訪れるたびに、花が咲き、実がなり、稲穂が黄金色に染まる風景の中で、地域の自然と人のあたたかさにつれ、たくさんの学びと笑顔が生まれました。



農業は人とつながりあってこそ！
そこが一番の醍醐味。
それをちゃんと体感できる場所。

春 — 花咲く季節、さくらんぼと田んぼで地域と出会う

5月、学生たちは、さくらんぼの花粉付けや摘果作業、田植えなどに取り組みました。地域の方から作業の手順を教わりながら、初めての経験に少し緊張しつつも、笑顔があふれました。「裸足で田んぼに入るのは初めて」という学生も多く、ぬかるみに足を取られながらも一生懸命に苗を植えました。さくらんぼの花粉付けや摘果作業も大学ではなかなか体験できないもので、学生にとっても貴重な経験となりました。



花粉付けも摘果も上を向いての作業。とても眩しくて大変。頑張ってた。みんなに喜んでもらって1時間で300バック売す！！

自然の中での演奏最高！

夏 — さくらんぼフェスタ、地域の笑顔が実る日

6月、大須戸地区で「さくらんぼフェスタ」が開催されました。学生たちは、直売ブースでの販売などのボランティアとして参加し地域の方々と一緒にお祭りを支えました。また、田植えの参加をきっかけに声をかけていただいた軽音サークルの学生が、当日のステージで演奏を披露。会場には音楽と拍手が広がり、訪れた人と地域、学生の笑顔あふれる一日となりました。



秋 — 稲刈りで感じた、実りとつながり

9月、大須戸の棚田で伝統的な稲刈りが行われ、学生たちも参加しました。地域の方に教わりながら鎌で稲を刈り取り、束ね、はさがけで天日干しにする作業も体験しました。慣れない作業に苦戦しつつも、手作業で進める稲刈りの大変さや、昔ながらの方法を守り続ける地域の思いにふれる機会になりました。実りに触れ、人とのつながりを感じた秋の活動でした。

